

鍼灸エビデンスレポート 2011

— 53 の RCT —

(EJAM 2011)

2012. 3. 31

Evidence Reports of Japanese Acupuncture and Moxibustion:
53 Randomized Controlled Trials of Japan
(EJAM 2011)
31 Mar 2012

東アジア伝統医学の有効性・安全性・経済性のシステマティック・レビュー
日本鍼灸エビデンスレポート・タスクフォース

研究分担者

川喜田健司 明治国際医療大学

研究協力者 (50 音順)

井上悦子 森ノ宮医療学園専門学校
金子泰久 呉竹学園東洋医学臨床研究所
七堂利幸 大阪医療技術学園専門学校
篠原昭二 明治国際医療大学
下市善紀 関西医療大学
春木淳二 関西医療大学
古屋英治 呉竹学園東洋医学臨床研究所
保坂政嘉 関西医療大学
山崎 翼 明治国際医療大学
若山育郎 関西医療大学大学院

研究代表者

津谷喜一郎 東京大学大学院薬学系研究科医薬政策学

平成 22・23 年度厚生労働科学研究費補助金 (地域医療基盤開発推進研究事業)

Executive Summary

本プロジェクトは、東アジアの伝統医学のシステマティック・レビューを行うことが最終的な目標である。この分担研究の役割は、日本で行われた鍼灸治療に関する臨床研究に焦点をあてて、システマティック・レビューを行うことである。日本東洋医学会のEBM 特別委員会が実施した、漢方治療関連論文のシステマティック・レビューがすでに実施されており、その成果はEKAT2010として刊行されている。そこで、本タスクフォースでは、EKAT プロジェクトのプロトコールに準拠し、日本の鍼灸の臨床試験の構造化抄録を作成した。それらが英語に翻訳され web 上に公開されることによって、日本発の鍼灸臨床研究の現状について理解が深まることのできる。

本プロジェクトの基本的な方針は以下の如くである。

- (1) エビデンスのレベルが高い RCT の文献を網羅的に収載し評価する。
- (2) 論文の検索方法と評価のプロセスを明示し、正確性と公平性を高める。
- (3) EKAT2010 に準拠した 12 項目（目的、研究デザイン、セッティング、参加者、介入、主なアウトカム評価項目、主な結果、結論、鍼灸医学的言及、論文中の安全性評価、Abstractor のコメント、Abstractor 名と作成日）からなる構造化抄録の形で掲載する。
- (4) 採用しなかった論文は、理由を明確にした上で除外論文リストに記載する。

論文の選択基準は、日本で行われた鍼灸治療、指圧、TENS などを用いた患者を対象としたランダム化比較試験 (randomized controlled trial: RCT) とした。対象論文の検索には、医中誌 Web Ver.4, The Cochrane Library CENTRAL、津谷・須山による「日本の鍼灸 RCT データベース」(JAC-RCT)、全日本鍼灸学会のメンバーの作成した鍼灸臨床試験論文リスト（仮称 JSAM-RDB）を用いた。また、系統的ではないものの、引用文献などを参照してハンドサーチにて関連論文の検索も適宜おこなった。

本プロジェクトの最初の計画では、すべての RCT を対象とした検索を行った。その結果、健常者を対象とした基礎実験的な研究論文が多く含まれていることが判明した。そこで、今回のプロジェクトが 2 年計画であることをふまえ、その選択基準に新たに患者を対象とした臨床試験であることを加えた。

最終的には、243 論文から、53 件の RCT について構造化抄録を作成し、疾患の ICD10 のコード順に掲載した。選択基準にあわない論文については、除外論文リストを作成し、その書誌事項と除外理由を記載した。

本レポートのまとめ方、記載内容、論文の見落とし、などに対するコメントがいただければ幸いである。

目次

頁

Executive Summary	i
目次	iii
1. 鍼・灸構造化抄録作成の背景 (background)	1
2. 目的 (purpose)	1
3. 構造化抄録作成のステップ (steps for development of structured abstracts)	1
(1) 論文の選択基準	1
(2) 検索とのスクリーニング	1
(3) 構造化抄録の作成	4
4. 選択・除外論文の概要 (included references and excluded references)	5
5. 利益相反関連事項 (conflict of interests)	6
6. 謝辞 (acknowledgement)	6
7. 問合わせ先 (contact point)	7
8. 構造化抄録・論文リスト (structured abstract and included reference list, 53 papers)	8
9. 除外論文リスト(excluded references list, 190 papers)	11
10. 構造化抄録 (RCT 53 抄録) (structured abstract describing RCTs)	19

1. 鍼・灸構造化抄録作成の背景 (background)

東アジアの伝統医学の中で、鍼灸治療は長い歴史を持っており、中国と同様に日本、韓国においても発展してきた。しかし、EBMの視点からすると鍼灸治療の高い質をもった大規模の臨床研究の大多数は西洋世界で行われてきている。一方、日本においても多くの鍼灸の臨床研究が行われてきており、さまざまな興味深いユニークなエビデンスが得られている。残念なことにその研究の成果の多くは日本語で書かれて日本の雑誌に投稿されているため、その内容が海外の研究者、臨床家、医療機関に適切に伝わっていない。そこで、本研究では、日本で実施された質の高い鍼灸関連の臨床研究論文の構造化抄録を作成し、それを Web 上もしくは書籍として公開することを計画した。

本研究は、2010 年度に採択された厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）による「東アジアの伝統医学の有効性・安全性・経済性のシステマティック・レビュー」（研究代表者：津谷喜一郎）の分担研究の一環としておこなわれたものである。構造化抄録の作成に当たっては、日本東洋医学会の EBK 特別委員会の作成した EKAT 2010 (Evidence report of Kampo Medicine 2010)の方法に準拠した。

2. 目的 (purpose)

日本で実施された患者と対象として鍼灸療法に関するランダム化比較試験を網羅的に収集・吟味し、その構造化抄録を作成し、それらを web もしくは書籍として公表する。

3. 構造化抄録作成のステップ (steps for development of structured abstracts)

(1) 論文の選択基準

以下の 3 つの基準を全て満たす論文を対象とした。

- 1) 鍼灸に関する患者対象の臨床試験であること。
- 2) 研究デザインが、ランダム化比較試験 (randomized controlled trial: RCT)、準ランダム化比較試験 (quasi-randomized controlled trial: quasi-RCT)、またはメタ・アナリシス (meta-analysis) であること (今回の選択基準ではクロスオーバー試験も RCT とみなした。また、ランダム化の記事が不十分なものも一部含んでいる。)
- 3) 日本で行われた臨床試験であること。

(2) 検索とスクリーニング

検索には以下の 4 つのデータベースを用いた。スクリーニングは 2 段階で行われた。すなわち、データベースによる検索後、検索担当者によって、各データベース間の重複論文を削除したのち、書誌情報と抄録から明らかに選択基準を満たさないものを除外した。その後、後記する構造化抄録作成のプロセスで本文を対象とした吟味がなされ、最終的な採択・除外が決定された。なお、研究期間とマンパワーの関連から、患者を対象とした臨床研究に絞込むこととした。

本研究では、日本東洋医学会の作成したエビデンスレポート (EKAT) の方法に準拠して、和文の学術論文に関しては、医中誌 Web 版によって、海外のデータベースにおける論文検索は、Cochrane Library (CENTRAL) を用いて行なった。また、津谷・須山により収集・整理の作業が 2001 年から開始され Japan Hand and Electric Search Society (JHES) の website に掲載 <http://jhes.umin.ac.jp/JAC-RCT/menu.html> されて

いる「日本の鍼灸 RCT データベース」(JAC-RCT)と、全日本鍼灸学会の関係者が作成した文献リスト(仮称 JSAM-RDB)を検索対象に加えた。さらに、論文の引用文献から系統的ではないもののハンドサーチ(H)によって該当論文の有無についても調べた。

1) 医中誌 Web (I)

医学中央雑誌刊行会の医中誌 Web Ver.4 を用いて 2011 年 2 月 12 日に、期間を限定せず鍼灸関連論文のランダム化比較試験を以下の検索式を用いて検索した。その結果 207 論文がさらなるスクリーニングの候補としてヒットした。その検索式並びに得られた検索結果を **Table 1** に示す。

Table 1 医中誌 Web Ver. 4 による検索式とその結果

検索日:2011年2月12日

No.	検索式	件数
#1	鍼療法/TH	11,831
#2	灸療法/TH	4,544
#3	経絡/TH	5,848
#4	@鍼灸療法/TH	5,374
#5	鍼灸医学/TH	1,076
#6	経皮的電気刺激/TH	2,625
#7	#1 or #2 or #3 or #4 or #5 or #6	23,163
#8	鍼/AL or 灸/AL	24,376
#9	針療法/AL or はり療法/AL or 針治療/AL or はり治療/AL or もぐさ/AL or カッピング/AL or 針通電/AL or はり通電/AL or 経穴/AL or 経絡/AL	7,588
#10	経皮的末梢神経電気刺激/AL or 経皮的末梢神経刺激/AL or 経皮的電気の神経刺激/AL or 経皮的電気神経刺激/AL or 経皮的電気刺激/AL or 経皮的神経刺激/AL or 経皮的神経電気刺激/AL or 経皮末梢神経電気刺激/AL or 経皮末梢神経刺激/AL or 経皮電気の神経刺激/AL or 経皮電気神経刺激/AL or 経皮電気刺激/AL or 経皮神経刺激/AL or 経皮神経電気刺激/AL or "Transcutaneous Electrical Nerve Stimulation"/AL or "Transcutaneous Electrical Nervous Stimulation"/AL or "Transcutaneous Electric Nerve Stimulation"/AL or "Transcutaneous Electric Nervous Stimulation"/AL or TENS療法/AL or TENS治療/AL	1,010
#11	ツボ電気刺激/AL or ツボ電気療法/AL or ツボ療法/AL or ツボ表面刺激/AL or ツボ通電刺激/AL or 神経ツボ刺激/AL or つぼ電気刺激/AL or つぼ電気療法/AL or つぼ療法/AL or つぼ表面刺激/AL or つぼ通電刺激/AL or 神経つぼ刺激/AL or 経穴電気刺激/AL or 経穴電気療法/AL or 経穴表面刺激/AL or 経穴通電刺激/AL or "Transcutaneous electrical acupuncture"/AL or "Transcutaneous electric acupuncture"/AL or TEAS療法/AL or TEAS治療/AL	53
#12	SSP療法/AL or SSP治療/AL or "Silver Spike Point"/AL or シルバースパイクポイント/AL or "シルバー・スパイク・ポイント"/AL	173
#13	#1 or #2 or #3 or #4 or #5 or #6 or #8 or #9 or #10 or #11 or #12	27,972
#14	#13 and (RD=メタアナリシス,ランダム化比較試験,準ランダム化比較試験)	207
#15	#13 and 臨床試験/TH not #14	297
#16	#13 and RD=比較研究 not #14 not #15	366

2) The Cochrane Library CENTRAL (C)

コクラン共同計画が作成する RCT の世界的なデータベースである The Cochrane Library に掲載される The Cochrane Central Register of Controlled Trials (CENTRAL) を用いて、日本の鍼灸の RCT を検索した。なお、Medline 中の RCT は全て CENTRAL に含まれるため、Medline での検索は実施しなかった。

2010 年 2 月 12 日に **Table 2** に示す検索式を用いて期間の限定なしに検索をおこなった。その結果、日本発の鍼灸関連の論文は 174 件が検索されたが、臨床試験に限定する意味で CENTRAL に収録されてい

る論文に限ると 90 件が該当した。検索された 90 件から目視により鍼灸、TENS、指圧の論文を検索したところ、46 件の関連論文があった。そのうち 23 件が第一段の選別で選ばれ、最終的には、11 件が選択され SA が作成された。CENTRAL で検索された 23 の鍼灸関連論文のうち、14 件が医中誌 Web での検索結果と重複していた。

Table 2 CENTRAL で用いた検索式とその検索結果

検索日：2011年2月12日

No.	Search fomula	N
#1	MeSH descriptor Acupuncture Therapy explode all trees	2,135
#2	MeSH descriptor Acupuncture explode all trees	121
#3	MeSH descriptor Transcutaneous Electric Nerve Stimulation explode all trees	879
#4	(#1 OR #2 OR #3)	2,700
#5	acupunctur*	5,695
#6	moxibustion*	2,031
#7	moxa	31
#8	electroacupunctur*	751
#9	needl* NEXT therap*	53
#10	cupping NEXT therap*	23
#11	acupoint*	796
#12	transcutaneous NEXT electric* NEXT Nerve NEXT stimul*	955
#13	transcutaneous NEXT electric* NEXT Nervous NEXT stimul*	3
#14	transcutaneous NEXT electric* NEXT acupunctur*	0
#15	silver NEXT spike NEXT point*	1
#16	(#1 OR #2 OR #3 OR #5 OR #6 OR #7 OR #8 OR #9 OR #10 OR #11 OR #12 OR #13 OR #14 OR #15)	6,753
#17	japan* or nihon or nippon	17,636
#18	(#16 AND #17)	174
#19	#18 の中でCochrane Central に収録されている文献に限定	90

3) JAC-RCT データベース (J)と JSAM-RDB 文献リスト(M)とハンドサーチ(H)

今回の検索では、関連データベースとして、津谷・須田による「日本の鍼灸 RCT データベース」(JAC-RCT) (J)と、全日本鍼灸学会研究部の関係者から提供された文献リスト（仮称：JSAM-RDB) (M)も併せて検索対象とした。さらに、論文の引用文献から系統的ではないもののハンドサーチ (H) によって該当論文の有無についても調べた。これにより検索の段階で見落とされていた 2 文献が見つかった。その理由は、データベースにおける収載もれによるものであった。

データベース間でいくつかの重複があった。Table 3 にの検索のまとめを示す。並行してスクリーニングが 3 つの step でなされた。Fig. 1 に示す。3 つ目の step で除外された 190 論文に関しては、構造化抄

録は作成せず、除外論文リストに書誌事項と除外理由を記載した。

Table 3 構造化抄録の作成にあたり対象となった文献総数と採択率

DB名	全体	採択数	採択率(%)
医中誌Web	216	36	17.1
Central	46	11	19.6
JHES (JAC-RCT)	41	4	9.8
JSAM-RDB	118	0	0
* Hand search	2	2	100
合計	423	53	12.3

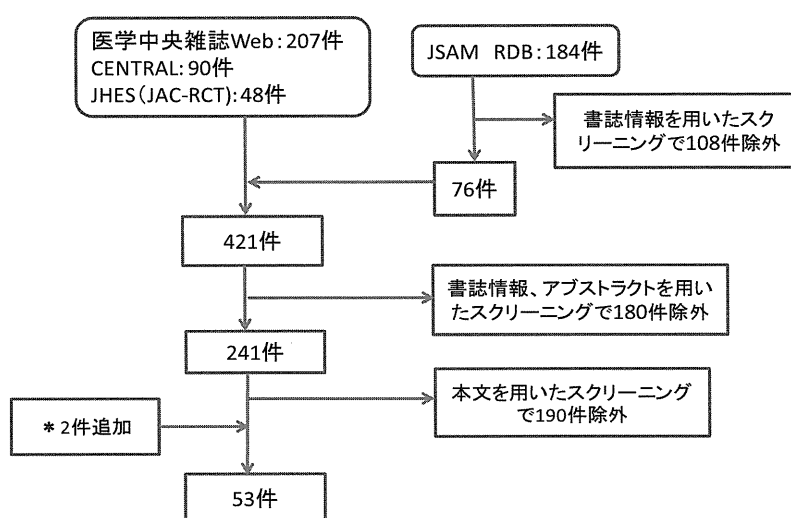


Fig. 1 文献検索とスクリーニングのフローチャート

*印の2件は、データベースの掲載もれがハンドサーチによって最終段階で見つかったもの。

(3) 構造化抄録の作成

収載基準に合致した文献に関して、構造化抄録 (structured abstract: SA) を作成した。

RCTの構造化抄録は、EKAT2010で採用された形式に準拠して作られた。その内容は、1) 目的、2) 研究デザイン、3) セッティング、4) 参加者、5) 介入、6) 主なアウトカム評価項目、7) 主な結果、8) 結論、9) 鍼灸医学的言及、10) 論文中的安全性評価、11) Abstractor のコメント、12) Abstractor and date とした。なお、9)「鍼灸医学的言及」に関しては、本研究の対象となった研究では患者の鍼灸医学的診断における「症」にもとづく選択基準はなかった。そこで、本レポートでは、それぞれの研究の鍼灸医学的な特徴や意義について紹介する内容とした。

構造化抄録は、疾患のICD10 (2003年改訂版) コード順に並べて編集した。同じコードの場合には主評価論文の発表年順とした。除外論文リストについては、基礎医学的研究も含まれており、ICD10コード順に準拠しつつ疾患ではなく関連する組織・器官に並べた。構造化抄録作成にあたっては質の維持を目的として、「Structured Abstract 作成マニュアル」を作成し、適時 update して班員らに配布した。

4. 選択・除外論文の概要

(1) 構造化抄録が作成された study

選択された53件の論文について構造化抄録を作成した。それらについて、構造化抄録作成論文リストとして、1) SANo、2) 疾患のICD10(2003年改訂版)コード、3) Research Question、4) 鍼灸の介入、5) 論文の書誌事項、6) 研究デザイン、7) 検索ソースを記載した。なお、それらの研究デザインによる分類結果をTable 4に示す。1件のDB-RCTは、術者のマスクングをシャム円皮鍼を用いて行ったものである。なお、準ランダム化比較試験の中に一件のクロスオーバー試験が含まれている。

Table 4 構造化抄録を作成した論文のデザイン

研究デザイン	件数
二重マスクランダム化比較試験(DBRCT)	1
ランダム化比較試験(RCT)	29
ランダム化比較試験封筒法(RCT envelop)	15
準ランダム化比較試験(quasi RCT)	3*
クロスオーバー試験(crossover)	5

今回採択された論文における対象疾患についてICD10の分類とEJAMの分類との関連、ならびにその数についてまとめたものがTable 5である。本JSAMレポートにおける傷病名はEKATのものに準じた。日本の鍼灸治療の臨床試験の多くが、「筋骨格・結合組織の疾患」に分類される、腰痛、変形性膝関節症、頸部痛などの疼痛関連の疾患であることが特徴的であった。

Table 5 傷病名領域と構造化抄録数

ICD10コード	ICD10 傷病名	EKATにおける傷病名	構造化抄録
A00-B99	感染症および寄生虫症	感染症(ウイルス性肝炎を含む)	0
C00-D48	新生物	癌(癌の術後、抗癌剤の不特定な副作用)	0
D50-D89	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	貧血などの血液の疾患	0
E00-E90	内分泌、栄養および代謝疾患	代謝・内分泌疾患	4
F00-F99	精神および行動の障害	精神・行動障害	2
G00-G99	神経系の疾患	神経系の疾患(アルツハイマー病を含む)	0
H00-H59	眼および付属器の疾患	眼の疾患	1
H60-H95	耳および乳様突起の疾患	耳の疾患	0
I00-I99	循環器系の疾患	循環器系の疾患	2
J00-J99	呼吸器系の疾患	呼吸器系の疾患(インフルエンザ、鼻炎を含む)	1
K00-K93	消化器系の疾患	消化管、肝胆膵の疾患	3
L00-L99	皮膚および皮下組織の疾患	皮膚の疾患	1
M00-M99	筋骨格系および結合組織の疾患	筋骨格・結合組織の疾患	33
N00-N99	尿路器系の疾患	泌尿器、生殖器の疾患(更年期障害を含む)	0
O00-O99	妊娠、分娩および産じょく	産前、産後の疾患	0
P00-P96	周産期に発生した病態	周産期に発生した病態	0
Q00-Q99	先天奇形、変形および染色体異常	先天奇形、変形および染色体異常	0
R00-R99	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	症状および兆候	4
S00-T98	損傷、中毒およびその他の外因の影響	麻酔、術後の疼痛	1
V00-Y98	傷病および死亡の外因	傷病および死亡の外因	0
Z00-Z99	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	その他	1
U00-U99	特殊目的用コード	特殊目的用コード	0

また、選択された論文における介入方法についてまとめたものが **Table 6** である。通常の経穴に対する鍼刺激や鍼通電刺激以外に、トリガーポイントを対象とする鍼介入が比較的多いこと、また、海外の研究論文ではきわめてまれな円皮鍼、皮内鍼など皮膚に対する鍼刺激を用いた臨床研究が多く見られるのが特徴であった。

Table 6 採択された論文で用いられた介入方法の一覧

介入	N	介入	N
鍼(豪鍼)	35	皮膚鍼	10
鍼(手技法・置鍼含む)	21	円皮鍼	4
トリガーポイント	9	皮内鍼	2
鍼通電	4	耳鍼	4
その他	1	温灸	2
電熱針	1	指圧	2
		TENS,TEAS	3

53 件の採択論文のうち海外の欧文誌に投稿されたものが 11 件であり全体の 21%であった。また、今回の論文の検索の過程で、同一研究が重複論文として発表されていたものが認められた。その内容は、1 研究 4 論文 (1 件) 1 研究 3 論文 (2 件)、1 研究 2 論文 (1 件) であった。それぞれの研究の代表的論文を選びだし、その構造化抄録を作成し、Abstractor のコメントとして重複論文のあることに言及した。

(2) 除外論文リスト (excluded references list) の作成

以下の 1)~6) に該当する文献 190 件については、構造化抄録を作成せず、除外論文リストに書誌事項とその除外理由を記載した。

- 1) 臨床論文ではあるが、RCT、メタアナリシスではない
- 2) 鍼灸に関連した研究でない
- 3) 健常者用いた研究もしくは基礎医学研究
- 4) RCT 論文を用いた、解説、報告である
- 5) 非日本発である
- 6) 記載内容が不十分で構造化抄録が作成できない

5. 利益相反関連事項 (conflict of interests)

鍼灸エビデンスレポート・タスクフォースのすべてのメンバーは、本プロジェクトに関連する利益相反をもたない。

6. 謝辞(acknowledgement)

本レポートの作成に当たり、文献収集の面でご協力いただきました文献収集方法、ランダム化比較試験の選び方をご教授いただきましたサンメディア社、医学中央雑誌刊行会の方々に謝意を表します。

7. 問い合わせ先 (contact point)

本レポートに対するコメントを、下記アドレスまでお寄せください。対象となった論文の著者からのご意見も歓迎します。また、対象論文の見落としを見つけられた方があればお知らせください。いただいたコメントは、検討のうえ改訂時に反映させる予定です。

k_kawakita@meiji-u.ac.jp

8. 構造化抄録・論文リスト

(structured abstract and included reference list, 53 論文)

構造化抄録を作成した 53 の study を下記のリストに示した。このリストには以下を含む。

- 1) ICD-10のコード
- 2) research question
- 3) 論文の書誌事項
- 4) 研究デザイン
- 5) 検索ソース
- 6) ページ数

page 5のTable 5に示したように傷病名領域に対応するRCTが0件のものは、章Noと傷病名領域を
はぶいた。

検索ソースの略号は以下の通りである：

I：医中誌 Web Ver.4

C：Cochrane Library のCENTRAL

J：津谷・須田による「日本の鍼灸 RCT データベース」(JAC-RCT)

M：全日本鍼灸学会研究部の関係者から提供された文献リスト (仮称：JSAM-RDB)

H：ハンドサーチ

4. 代謝・内分泌疾患 (4 抄録, 4 論文)

ICD-10	Research Question	介入	論文	研究 デザイン	検索 ソース	頁
E669	肥満に対する耳針療法の効果の評価	耳針	向野義人. 肥満の耳針療法-有効性及びその作用機序についての検討-. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 1981;31(1):67-74.	RCT	J	14
E669	耳の皮電点が機能的単位であるかどうかの評価	耳針	向野義人, 恒矢保雄, 服部徹. 肥満の耳針療法(2)-皮電点の意義について-. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 1983; 32(3): 226-32.	RCT	J	15
E669	肥満の耳針療法における噴門点と肺点の効果差の評価	耳針	向野義人, 荒川規矩男, 恒矢保雄. 肥満の耳針療法における噴門点と肺点の効果差. <i>全日本鍼灸学会誌</i> 1984; 33(3): 279-84.	RCT	I	16
E669	耳針療法による味覚の変化および左右刺激の効果差の評価	耳針	向野義人, 荒川規矩男. 肥満の耳針療法における味覚の変化. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 1985; 34(3,4): 211-6.	RCT	I	17

5. 精神・行動障害 (2 抄録, 2 論文)

ICD-10	Research Question	介入	論文	研究 デザイン	検索 ソース	頁
F03	高齢者の知的機能と日常生活動作の低下に対する TEAS の効果の評価	TEAS	澤田規, 澤田千浩, 福田文彦, ほか. 高齢者の知的機能および日常生活動作に及ぼす TEAS 治療の効果について. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2001; 51(1): 69-80.	RCT- envelope	I	18
F459	不定愁訴に対する針灸効果の評価	針+ 湯液	七堂利幸, 有地滋, 森悦子, ほか. 不定愁訴に対する針灸効果-比較試験- <i>全日本鍼灸学会誌</i> 1982; 32(1): 33-43.	RCT	J	19

7. 眼の疾患 (1 抄録, 1 論文)

ICD-10	Research Question	介入	論文	研究 デザイン	検索 ソース	頁
H269	水晶体屈折度変化のない被験者に対する鍼刺激による視力向上効果の評価	鍼	福野梓, 鶴浩幸, 片岡佳介, ほか. 鍼刺激による屈折変化非依存性の視力向上効果. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2008; 58(2): 195-202.	RCT- cross over	I	20

9. 循環器系の疾患 (2 抄録, 2 論文)

ICD-10	Research Question	介入	論文	研究 デザイン	検索 ソース	頁
I10	足三里穴刺鍼の高圧効果の評価	鍼	河瀬美之, 石神龍代, 堀茂, ら. 高血圧に対する足三里穴刺鍼の有効性について-封筒法による臨床比較試験-. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2000; 50: 185-189.	RCT- envelope	I	21
1959	帝王切開患者における脊髄麻酔後の低血圧に対する TENS の有効性評価	TENS	Arai YCP, Kato N, Matsura M, et al. Transcutaneous electrical nerve stimulation at the PC-5 and PC-6 acupoints reduced the severity of hypotension after spinal anaesthesia in patients undergoing Caesarean section. <i>British Journal of Anaesthesia</i> 2008;100 (1): 78-81.	RCT- envelope	C	22

10. 呼吸器系の疾患(インフルエンザ、鼻炎を含む) (1抄録、1論文)

ICD-10	Research Question	介入	論文	研究デザイン	検索ソース	頁
J00	鍼による風邪の予防効果と感染後の治療効果の評価	鍼	磯部由美子、干思、井上悦子. ランダム比較試験 (RCT) による鍼カゼ予防・治療効果 <i>東洋療法学校協会雑誌</i> 2000; 24: 94-7.	RCT	I	23

11. 消化管、肝胆膵の疾患 (3抄録、3論文)

ICD-10	Research Question	介入	論文	研究デザイン	検索ソース	頁
K590	ツボ刺激の褥瘡の排便コントロールに対する有効性評価	指圧	河野貴絵、田村紗織、井上清子. 排便困難に対するツボ刺激の効果 <i>母性看護</i> 2007; 38: 74-6.	RCT	I	24
K910	術後の嘔気嘔吐に対する指圧バンドの有効性の評価	指圧	川内泰子、林田道子、竹内雅依、ほか. 婦人科手術後の悪心・嘔吐に対する Acupressure の効果 <i>臨床麻酔</i> 2000; 24(1): 21-4.	RCT	I	25
K910	腹部手術後の疼痛、嘔気嘔吐に対する円皮鍼の効果の評価	円皮鍼	Kotani N, Hashimoto H, Sato Y et al. Preoperative intradermal acupuncture reduces postoperative pain, nausea and vomiting, analgesic requirement, and sympathoadrenal responses <i>Anesthesiology</i> 2001; 95(2): 349-56.	RCT-envelope	C	26

12. 皮膚の疾患 (1抄録、1論文)

ICD-10	Research Question	介入	論文	研究デザイン	検索ソース	頁
L299	透析患者が抱える掻痒感に対する鍼治療効果の評価	円皮鍼	櫻庭陽、沢崎健太、武内秀之、ほか. 血液透析患者の QOL 維持・向上を目指した鍼治療の導入とその効果—かゆみを対象とした鍼治療の実践— <i>腎臓</i> 2007; 30(2): 167-74.	quashi RCT-cross over	I	27

13. 筋骨格系および結合組織の疾患 (33抄録、33論文)

ICD-10	Research Question	介入	論文	研究デザイン	検索ソース	頁
M069	リウマチに対する鍼灸治療の有効性の評価	鍼	粕谷大智、沢田哲治、磯部秀之、ほか. 関節リウマチに対する鍼灸治療の多施設ランダム化比較試験 <i>日本温泉気候物理医学会雑誌</i> 2005; 68(4): 193-202.	RCT	I	28
M179	運動動作時の症状を経筋病とした遠隔部経穴への治療の効果の評価	皮内鍼	復原昭二、勝見泰和. 運動時愁訴に対する経筋を応用した遠隔部治療について <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2003; 53(1): 4-7.	RCT	I	29
M179	変形性膝関節症に対する鍼治療の臨床的効果の評価	鍼	小澤康宏、小川貴司、中川仁、ほか. 内側型変形性膝関節症に対する鍼治療効果について—RCTによる刺鍼群と偽鍼群(鍼管刺激群)の治療効果の比較— <i>鍼灸 Osaka</i> 2003; 18(4): 393-6.	RCT-envelope	I	30
M179	高齢変形性膝関節症患者の痛みに対する TENS と鍼治療の有効性の評価	鍼	伊藤和憲. 運動器疾患に伴う慢性疼痛に対する保存療法の意義—変形性膝関節症に対する TENS と鍼治療の効果— <i>慢性疼痛</i> 2005; 26: 143-8.	RCT	I	31
M179	高齢変形性膝関節症患者に対する標準経穴鍼治療とトリガーポイント鍼治療の有効性の比較	鍼 (TrP)	Itoh K, Hirota S, Katsumi Y, et al. Trigger point acupuncture for treatment of knee osteoarthritis – a preliminary RCT for a pragmatic trial <i>Acupuncture in Medicine</i> 2008; 26(1): 17-26.	RCT	C	32
M179	変形性膝関節症の運動機能と痛みに対する鍼刺激深度の違いによる効果の評価	鍼	宮本直、伊藤和憲、越智秀樹、ほか. 変形性膝関節症に伴う痛みと運動機能に対する鍼治療の効果—鍼の刺激深度の違いによる治療効果の検討— <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2009; 59(4): 384-94.	RCT	I	33
M179	変形性膝関節症に対するはり治療の臨床的効果の評価	鍼	山本博司、榎田高士、吉備登、ほか. 変形性膝関節症に対するはり治療の臨床的効果 3—無作為化比較試験— <i>関西医療大学紀要</i> 2009; 3: 36-40.	RCT	I	34
M179	変形性膝関節症に対する鍼灸治療の運動療法併用効果の評価	鍼	越智秀樹、勝見泰和、片山憲史ほか. 変形性膝関節症に対する運動療法を併用した鍼灸治療の効果—運動療法併用の重要性の検討— <i>東洋医学とペインクリニック</i> 1993; 23(3): 136-142.	RCT	H	35
M179	変形性膝関節症に対する鍼灸治療の運動療法併用効果の評価	鍼	越智秀樹、勝見泰和、池内隆治ほか. 変形性膝関節症に対する鍼治療の検討—運動療法併用の重要性について— <i>明治鍼灸医学</i> 1995; 17: 7-14.	RCT	H	36
M5422	頸肩部痛に対する鍼治療と局所注射の効果の比較	鍼	中嶋美和、井上基浩、糸井恵、ほか. ランダム化比較試験による頸肩部痛に対する鍼治療と局所注射の検討 <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2007; 57(4): 491-500.	RCT	I	37
M5422	慢性頸部痛患者に対するトリガーポイント鍼治療の有効性の評価	鍼 (TrP)	Itoh K, Katsumi Y, Hirota S, et al. Randomised trial of trigger point acupuncture compared with other acupuncture for treatment of chronic neck pain. <i>Complementary Therapies in Medicine</i> 2007; 15: 172-9.	RCT	C	38
M543	坐骨神経痛に対する傍神経刺と非傍神経刺の効果の比較	鍼	木下晴都、木下典穂. 傍神経刺を坐骨神経痛に応用した臨床試験 <i>日本鍼灸治療学会誌</i> 1981; 30(1): 4-13.	RCT-cross over	J	39
M543	坐骨神経痛に対する電熱針治療の有効性	その他 (電熱針)	熊雲、鈴木聡、浦田繁、ほか. 電熱針を用いた寒湿性坐骨神経痛治療の効果 <i>東洋医学</i> 2005; 21(3): 25-7.	RCT	I	40
M545	腰痛症に対する低周波鍼通電刺激および経皮的電気刺激法の有効性・安全性の評価	鍼 (鍼通電)	坂井友実、津谷喜一郎、津嘉山洋、ほか. 腰痛に対する低周波鍼通電療法と経皮的電気刺激法の多施設ランダム化比較試験 <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2001; 51(2): 175-84.	RCT-envelope	I	41
M545	腰痛患者に対する鍼通電と TENS の比較	鍼 (鍼通電)	Tsukayama H, Yamashita H, Amagai H, et al. Randomised controlled trial comparing the effectiveness of electroacupuncture and TENS for low back pain: a preliminary study for a pragmatic trial <i>Acupuncture in Medicine</i> 2002; 20(4): 175-80.	RCT-envelope	C	42
M545	慢性腰痛患者の痛みと QOL に対するトリガーポイント鍼治療と標準的鍼治療の比較	鍼 (TrP)	Itoh K, Katsumi Y, Kitakoji H. Trigger point acupuncture treatment of chronic low back pain in elderly patients—a blinded RCT <i>Acupuncture in Medicine</i> 2004; 22(4): 170-7.	RCT	C	43
M545	高齢者の慢性腰痛に対するトリガーポイント鍼治療と背部経穴への鍼治療の有効性の比較	鍼 (TrP)	伊藤和憲. 高齢者の慢性疼痛に対するトリガーポイント鍼治療の有効性—慢性腰痛に対する鍼治療の有効性— <i>慢性疼痛</i> 2004; 23(1): 83-8.	RCT-envelope	I	44
M545	高齢者の慢性腰痛に対する阿是穴鍼治療法の有効性	鍼	勝見泰和、糸井恵、小嶋晃義、ほか. 高齢者の慢性腰痛に対する阿是穴鍼治療法 <i>リハビリテーション医学</i> 2004; 41(12): 824-9.	RCT-cross over	I	45
M545	慢性腰痛患者の痛みと QOL に対するトリガーポイント鍼治療と sham 鍼治療の有効性の比較	鍼 (TrP)	Itoh K, Katsumi Y, Hirota S, et al. Effects of trigger point acupuncture on chronic low back pain in elderly patients—a sham-controlled randomised trial. <i>Acupuncture in Medicine</i> 2006; 24(1): 5-12.	RCT-cross over	C	46

ICD-10	Research Question	介入	論文	研究デザイン	検索ソース	頁
M545	腰痛に対する太極療法と低周波鍼通電置鍼療法の有効性の比較	鍼 (鍼通電)	河瀬美之、石神龍代、中村弘典、ほか。腰痛に対する鍼治療 偽鍼を対照群に用いた多施設ランダム化比較試験 全日本鍼灸学会雑誌 2006; 56(2): 140-9.	RCT	I	47
M545	慢性腰痛患者に対する遠赤外線照射を併用した SSP 療法の効果の評価	SSP	河内明、北出利勝、金睦子、ほか。慢性腰痛に対する遠赤外線照射を併用した SSP 療法の吟味 東洋医学とペインクリニック 2006; 36(1): 35-42.	RCT-envelope	I	48
M545	慢性腰痛患者に対するトリガーポイント治療と圧痛点治療の有効性の評価	鍼 (TrP)	廣田里子、伊藤和憲、勝見泰和。慢性腰痛患者を対象としたトリガーポイント治療と圧痛点治療の比較対照試験-高齢者 9 例に対する予備的研究- 全日本鍼灸学会雑誌 2006; 56(1):68-75.	quashi-RCT	I	49
M545	腰痛に対する圧痛点への鍼刺激による直後効果の評価	鍼	Inoue M, Kitakoji H, Ishizaki N, et al. Relief of low back pain immediately after acupuncture treatment -a randomized, placebo controlled trial <i>Acupuncture in Medicine</i> 2006; 24(3): 103-8.	RCT	C	50
M545	高齢慢性腰痛患者に対する同一筋上でのトリガーポイントと圧痛点での鍼刺激効果の比較	鍼 (TrP)	廣田里子、伊藤和憲、勝見泰和。高齢者の慢性腰痛患者に対するトリガーポイント鍼治療の試み-同一筋上に存在するトリガーポイントと圧痛点の刺激効果の違いについて- 明治鍼灸医学 2006; (38): 19-26.	RCT-cross over	I	51
M545	腰痛に対する局所注射と局所鍼治療の臨床効果の比較	鍼	井上基浩、中島美和、糸井恵、ほか。腰痛に対する鍼治療と局所注射の比較-ランダム化比較試験- 日本温泉気候物理医学会雑誌 2008; 71(4): 211-20.	RCT	I	52
M545	慢性腰痛に対する鍼と TENS の相乗効果の解析	鍼	Itoh K, Itoh S, Katsumi Y, et al. A pilot study on using acupuncture and transcutaneous electrical nerve stimulation to treat non-specific low back pain <i>Complementary Therapies in Clinical Practice</i> 2009; 15: 22-5.	RCT	C	53
M545	腰痛症に対する円皮鍼の効果の評価	円皮鍼	Miyazaki S, Hagihara A, Kanda R, et al. Applicability of press needles to a double-blind trial. A randomized, double-blind, placebo-controlled trial <i>Clinical Journal of Pain</i> 2009; 25(5): 438-44.	DB-RCT	C	54
M545	高齢者の慢性腰痛に対するトリガーポイント鍼治療の効果の評価	鍼 (TrP)	伊藤里子、伊藤和憲、勝見泰和、ほか。ランダム化比較試験を用いた高齢者の慢性腰痛に対するトリガーポイント鍼治療の有効性の検討 全日本鍼灸学会誌 2009; 59(1):13-21.	RCT	I	55
M6281	頸部のこりに対する鍼刺激の効果	鍼	鍋田智之、古田高征、北小路博司、ほか。頸部こり感に対する鍼刺激効果の臨床試験の試み 全日本鍼灸学会雑誌 1997; 47(3): 173-81.	RCT-envelope	I	56
M6281	圧痛点に対する鍼刺激の肩こり症状の軽減効果の解析	鍼	Nabeta T, Kawakita K. Relief of chronic neck and shoulder pain by manual acupuncture to tender points-a sham-controlled randomized trial <i>Complementary Therapies in Medicine</i> 2002; 10: 217-22.	RCT	C	57
M6281	肩こりに対する円皮鍼治療の有効性の評価	円皮鍼	古屋英治、名雪貴峰、八亀真由美、ほか。肩こりに及ぼす円皮鍼の効果-偽鍼を用いた比較試験 全日本鍼灸学会雑誌 2002; 52(5): 553-61.	RCT-envelope	I	58
M7919	運動器系愁訴に対する経筋を用いた皮内鍼の有効性評価	皮内鍼	篠原昭二。運動器系愁訴に対する経筋を応用した皮内鍼の有効性に関する臨床的研究 明治鍼灸医学 2000; 26: 65-80.	RCT-envelope	I	59
M7919	高齢者の慢性腰下肢痛に対するトリガーポイント鍼治療の効果の評価	鍼 (TrP)	伊藤和憲、勝見泰和。高齢者の慢性腰下肢痛に対する鍼治療の効果-トリガーポイント鍼治療の有効性に関する比較試験- 全日本鍼灸学会雑誌 2005; 55(4):530-37.	quashi-RCT	I	60

18. 症状および兆候 (4 抄録, 4 論文)

ICD-10	Research question	介入	論文	研究デザイン	検索ソース	頁
R35	夜間頻尿に対する温灸治療の効果の評価	温灸	富田賢一、北小路博司、本城久司、ほか。夜間頻尿に対する温灸治療の効果-ランダム化比較試験を用いた検討- 全日本鍼灸学会雑誌 2009; 59(2):116-24.	RCT	I	61
R391	排尿症状に対する、主訴に対する治療と、中極への鍼刺激を加えた治療との効果の評価	鍼	皆川宗徳、石神龍代、堀茂ほか。排尿障害に対する封筒法による臨床比較試験-中極穴の有効性について- 全日本鍼灸学会雑誌 1999; 49(3): 383-391.	RCT-envelope	I	62
R529	慢性疲労に対する鍼治療の有効性の評価	鍼	山崎翼、福田文彦、石崎直人ほか。慢性疲労に対する鍼治療の臨床的有効性の検討 日本未病システム学会雑誌 2009; 15(2): 186-96.	RCT	I	63
R688	冷え症に対する鍼灸治療の効果の評価	鍼	坂口俊二、金井成行、戸田静男。ランダム化比較試験による冷え症に対する鍼灸治療の効果 関西医療大学紀要 2007; 1: 82-5.	RCT	I	64

19. 麻酔・術後の疼痛 (1 抄録, 1 論文)

ICD-10	Research Question	介入	論文	研究デザイン	検索ソース	頁
T888	手術後疼痛に対する鍼鎮痛の評価	鍼 (鍼通電)	石丸圭荘、咲田雅一。手術後疼痛に対する鍼鎮痛の効果 東洋医学とペインクリニック 2002; 32(1-4): 10-8.	RCT-envelope	I	65

21. その他 (1 抄録, 1 論文)

ICD-10	Research Question	介入	論文	研究デザイン	検索ソース	頁
	高齢者の QOL 維持を目的とした自宅での温灸治療の有効性の評価	温灸	久下浩史、波多野義郎、森英俊。在宅高齢者における火を使用しない灸 (温灸) の QOL (SF-36) に及ぼす影響について 日本温泉気候物理医学会雑誌 2008;71(3): 180-6.	RCT-envelope	I	66

9. 除外論文リスト (excluded references list, 190 論文)

論文の掲載にあたっては、ICD10 の大枠に準拠しつつ、健常者による基礎医学的研究が多いことも考慮して、組織・器官に基づいて分類した。

検索ソースの略号は以下の通りである。

- I : 医中誌 Web Ver.4
- C : The Cochrane Library の CENRTRAL
- J : 津谷・須田による「日本の鍼灸 RCT データベース」(JAC-RCT)
- M : 全日本鍼灸学会研究部の関係者から提供された文献リスト (仮称 : JSAM-RDB)
- H : ハンドサーチ

除外理由については、以下の通り分類した。

- 1) 臨床論文ではあるが、RCT、メタアナリシスではない
- 2) 鍼灸に関連した研究でない
- 3) 健常者用いた研究もしくは基礎医学研究
- 4) RCT 論文を用いた、解説、報告である
- 5) 非日本発である
- 6) 記載内容が不十分で構造化抄録が作成できない

3. 貧血などの血液の疾患 (2 論文)

分類	Research Question	介入	論文	除外理由	検索ソース
D	突起押圧刺激のヘモグロビン動態に及ぼす効果の解析	圧迫	松熊秀明, 中村辰三. 前腕部への突起押圧刺激による近傍部ヘモグロビン動態に及ぼす影響. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2010; 60(1): 48-53.	3	I
D	鍼刺激の高強度運動時の血球応答への効果の解析	鍼	松原裕一, 清水和弘, 宮本俊和. ほか. 鍼刺激が高強度運動による好中球およびリンパ球の応答に及ぼす影響. <i>日本温泉気候物理医学学会雑誌</i> 2010; 73(2): 92-100.	3	I

4. 代謝・内分泌疾患 (2 論文)

分類	Research Question	介入	論文	除外理由	検索ソース
E	肥満に対する耳鍼療法の有効性評価	耳鍼	向野義人. 肥満に対する耳鍼療法の有効性と機序. <i>医道の日本</i> 1986; 45(10): 10-25.	4	J
E	骨格筋に対する鍼通電刺激のインスリン抵抗性に及ぼす効果の解析	鍼通電	稲谷大智, 美根大介, 小糸康治. ほか. 骨格筋に対する鍼通電刺激のインスリン抵抗性に及ぼす影響. <i>現代鍼灸学</i> 2008; 8(1): 9-19.	3	I

5. 精神・行動障害 (5 論文)

分類	Research Question	介入	論文	除外理由	検索ソース
F	うつ病に対する鍼の有効性評価	鍼	向野義人. Systematic Review からみたうつ病に対する鍼の有効性. <i>鍼灸 Osaka</i> 2005; 21(3): 245-50.	4	I
F	異なる鍼治療のストレス低減効果の比較	鍼	伊藤薫, 神澤創. ストレス負荷時の鍼治療によるストレス低減効果 2 種類の鍼治療の比較. <i>東洋医学とペインクリニック</i> 2002; 30(1/2): 8-15.	3	I
F	VDT 作業ストレスに対する円皮鍼の予防効果の解析	円皮鍼	山下なぎさ, 三木正則, 北邑典子. ほか. VDT 作業によるストレスに対する円皮鍼の予防効果. 唾液アミラーゼを指標として. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2007; 30: 74-7.	3	I
F	運動負荷ストレスに対する鍼治療の効果の解析	鍼	堤野孟, 田口辰樹. 運動負荷のストレスに対する鍼治療の効果について. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2008; 31: 146-9.	3	I
F	抑うつ患者に対する鍼通電治療の効果の解析	鍼通電	Luo H, Meng F, Jia Y, et al. Clinical research on the therapeutic effect of the electro-acupuncture treatment in patients with depression. <i>Psychiatry and Clinical Neurosciences</i> 1998; 52(Suppl.): S338-40.	1	I

6. 神経系の疾患(アルツハイマー病を含む) (1 論文)

分類	Research Question	介入	論文	除外理由	検索ソース
G	置針を併用する顔面神経麻痺に対する初期治療効果の解析	鍼	岡村由美子, 新井寧子, 荒巻元. ほか. 置針を併用した顔面神経麻痺の初期治療続報. <i>Facial Nerve Research</i> 2000; 20: 123-5.	1	I

7. 眼の疾患 (4 論文)

分類	Research Question	介入	論文	除外理由	検索ソース
H	遠隔経穴への鍼刺激が眼循環動態に及ぼす効果の比較	鍼	水上まゆみ, 矢野忠, 山田潤. 遠隔部経穴への鍼刺激が眼循環動態に及ぼす影響—合谷・風池・肝兪・光明・曲池の比較—. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2008; 58(4): 616-25.	3	I
H	鍼刺激の部位による眼循環動態に及ぼす効果の解析	鍼	水上まゆみ, 矢野忠, 山田潤. 下腿外側鍼刺激の眼循環動態に及ぼす影響. 外丘穴・光明穴・陽輔穴・非経穴の比較検討. <i>日本温泉気候物理医学会雑誌</i> 2006; 69(3): 201-12.	3	I
H	光明穴鍼刺激の眼循環動態に及ぼす効果の解析	鍼	水上まゆみ, 矢野忠, 山田潤. 光明穴鍼刺激の眼循環動態に及ぼす影響. <i>日本温泉気候物理医学会雑誌</i> 2005; 68(4): 231-40.	3	I
H	攢竹穴への鍼通電刺激の眼精疲労に及ぼす効果の評価	鍼通電	増田和茂, 花岡ひとみ, 原田晃. ほか. 前頭切痕(攢竹穴)への鍼通電刺激が眼精疲労に及ぼす影響について. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2010; 33: 155-8.	3	I

9. 循環器系の疾患 (11 論文)

分類	Research Question	介入	論文	除外理由	検索ソース
I	末梢循環に対する鍼灸治療の有効性評価	鍼灸	廣正基, 竹田太郎, 矢野忠. 高血圧症に対する鍼灸治療の効果に関する文献的検討と今後の課題. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2003; 53(1): 55-61.	4	I
I	高血圧に対する鍼灸治療の有効性評価	鍼	河瀬美之, 石神龍代. 高血圧に対する鍼灸治療の検討. <i>医道の日本</i> 2005; 64(6): 33-41.	4	I
I	鍼刺激の循環系自律神経機能に及ぼす影響の評価	鍼	田口健太郎, 松島美希, 蛭川洋生. ほか. 鍼刺激が循環系自律神経機能に及ぼす影響. 刺激方法の差による検討. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2001; 24: 30-7.	3	I
I	心理ストレスによる循環反応への鍼の効果の評価	鍼	山本温, 木村研一, 坂口俊二. ほか. 暗算負荷による心血管系反応と神門穴への鍼刺激の効果. <i>関西鍼灸大学紀要</i> 2006; 3: 14-9.	3	I
I	血管弾性に鍼刺激が及ぼす効果の刺激部位による違いの評価	鍼	岩元 英輔, 村瀬 健太郎, 谷之口 真知子. ほか. 血管弾性に鍼刺激が及ぼす影響. 手三里穴・足三里穴・中かん穴と無刺激の比較. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2010; 60(1): 54-63.	3	I
I	眼窩上孔刺激による心拍数の変化の解析	圧迫	木下滋. 眼窩上孔刺激による心拍数の変化. <i>日本鍼灸治療学会誌</i> 1975; 24(1): 22-6.	3	I
I	鍼刺激の一過性心拍減少反応における姿勢の違いの評価	鍼	今井賢治, 田和宗徳, 北小路博司. 鍼刺激に伴う一過性心拍減少反応に関する検討. 仰臥位および坐位姿勢時における変化の比較. <i>Health Sciences</i> 2004; 21(1): 45-52.	3	I
I	施灸の皮膚温上昇効果の評価	灸	津谷喜一郎, 都司弘子, 津嘉山洋. 手三里穴の施灸による手温め効果に関する左右無作為化比較試験. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 1997; 47(1): 74.	3	J
I	高血圧に対する足三里穴の有効性の評価	鍼	河瀬美之, 石神龍代, 堀茂ほか. 高血圧に対する封筒法による臨床比較試験. 足三里穴の有効性について. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 1999; 49(1): 233.	6	J
I	洞刺の降圧作用の解析	鍼	出淵昭男. 洞刺の降圧作用. <i>日本鍼灸治療学会誌</i> 1970; 19(2): 26-8.	1	J
I	鍼の冠循環に対する影響の評価	鍼	Kurono Y, Yano T, Shimoo K. The effect of acupuncture on the coronary arteries as evaluated by coronary angiography: a preliminary report. <i>Am J Chin Med</i> 2002; 30(2-3): 387-96.	3	C

10. 呼吸器系の疾患(インフルエンザ、鼻炎を含む)(6 論文)

分類	Research Question	介入	論文	除外理由	検索ソース
J	風邪症状に対する鍼の予防効果の評価	鍼	Kawakita K, Shichidou T, Inoue E, et al. Preventive and curative effects of acupuncture on the common cold: a multicentre randomized controlled trial in Japan. <i>Complement Ther Med</i> 2004; 12(4): 181-8.	4	C
J	呼吸機能に対する鍼刺激の効果の評価	鍼	原田健一郎, 松尾卓, 内村里恵. ほか. 呼吸機能に対する鍼刺激の影響. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2010; 33: 216-21.	3	I
J	急性喘息患者に対する鍼の気管支拡張効果の評価	鍼	Takishima T, Suetsugu M, Tamura G et al. The bronchodilating effect of acupuncture in patients with acute asthma. <i>Annals of Allergy</i> 1982; 48(1): 44-9.	1	M
J	間接灸の施設入所高齢者の風邪症状に及ぼす効果の評価	間接灸	高橋則人, 鶴浩幸, 江川雅人. ほか. 間接灸が施設入所高齢者の風邪症状に及ぼす影響. 単一被験者研究法を用いた臨床試験の試み. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2005; 55(5): 706-15.	1	I
J	COPD に対する鍼灸治療効果の評価	鍼	Suzuki M, Namura K, Ohno Y, et al. The effect of acupuncture in the treatment of chronic obstructive pulmonary disease. <i>J Altern Complement Med</i> 2008; 14(9): 1097-105.	1	C
J	花粉症に対する円皮鍼の有効性評価	円皮鍼	角谷英治, 井上悦子, 榎田高士. ほか. 日本と韓国における臨床研究の現状と問題点. 単一被験者ランダム化研究法(ランダム化 n-of-1 trial)を用いた花粉症症状に対する多施設パイロット試験. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2006; 56(2): 130-3.	4	I

11. 消化管、肝胆膵の疾患 (3 論文)

分類	Research Question	介入	論文	除外理由	検索ソース
K	慢性肝疾患に対する灸の有効性評価	灸	七堂利幸, 有地滋, 鴨原文一. ほか. 慢性肝疾患に対する灸効果. <i>日本鍼灸治療学会誌</i> 1980; 29(3): 56-73.	4	J
K	胃の膨満感と胃電図に対する足三里鍼通電刺激の効果の解析	鍼通電	阪野泰正. 胃の膨らみ感覚と胃運動指標に及ぼす足三里鍼通電刺激の影響. <i>明治鍼灸医学</i> 2008; 41: 21-8.	3	I
K	三療刺激による便通の変化の解析	鍼・灸・指圧	有田照美, 藤本真也, 能勢隆志. ほか. 三療刺激による便通の変化について. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2010; 33: 46-9.	3	I

12. 皮膚の疾患 (1 論文)

分類	Research Question	介入	論文	除外理由	検索ソース
L	鍼刺激による皮膚性状への効果の解析	なし	加川大治. 皮膚症状に対する鍼灸治療の有効性から考える. 鍼刺激による皮膚性状への影響. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2009; 59(4): 347-52.	4	I

13. 筋骨格・結合組織関連 (59 論文)

分類	Research Question	介入	論文	除外理由	検索ソース
M	関節リウマチに対する鍼灸治療の QOL を指標とした評価	鍼灸	粕谷大智, 江藤文夫. 関節リウマチに対する鍼灸治療. QOL を指標として. <i>リハビリテーション(医学)</i> 2004; 41(12): 836-41.	4	I
M	坐骨神経痛に対する刺鍼技術の評価	鍼	木下晴都. 坐骨神経痛に対する刺鍼技術の研究. <i>日本鍼灸治療学会誌</i> 1962; 12(1): 17-24.	4	J

分類	Research Question	介入	論文	除外理由	検索ソース
M	腰痛に対する鍼灸治療の有効性評価	鍼灸	黒須幸男. 腰痛に対する鍼灸治療(Ⅱ). <i>日本鍼灸治療学会誌</i> 1979; 28(2): 31-4.	4	J
M	最大背筋力に及ぼす円皮鍼の有効性評価	円皮鍼	清水正輝, 鶴正樹, 陵本直純, ほか. 最大背筋力に及ぼす円皮鍼の効果について. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2010; 33:159-61.	3	I
M	鍼刺激の瞬発力に及ぼす影響の評価	鍼	北山清恵, 川畑真由美, 歌代陽子, ほか. 鍼刺激が瞬発力に及ぼす影響. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2002; 26: 69-72.	3	I
M	遅発性筋痛に対する鍼刺激の有効性評価	鍼	高橋秀典, 藤井松子, 杉山知子, ほか. 伸張性収縮運動後に起こる筋肉痛に対する鍼刺激の影響. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2003; 26: 73.	3	I
M	膝関節運動にもなる筋出力低下に対する円皮鍼の効果の評価	円皮鍼	杉山直人, 三浦ゆかり, 佐藤亨子, ほか. 膝関節屈曲・伸展運動にもなる筋出力低下に及ぼす円皮鍼の影響. 等速性運動での検討. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2003; 27: 35-9.	3	I
M	膝関節運動にもなる筋出力低下に対する円皮鍼の効果の評価	円皮鍼	江頭至光, 後藤まりあ, 小橋智子, ほか. 肘関節屈曲伸展運動に伴う筋疲労に及ぼす円皮鍼の効果. 等張性運動での検討. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2007; 30: 66-70.	3	I
M	大腿四頭筋の筋収縮力に対する円皮鍼の効果の解析	円皮鍼	丹波徹二, 森田恭弘, 大腿四頭筋の筋収縮力に及ぼす円皮鍼の効果. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2007; 30: 71-3.	3	I
M	円皮鍼の垂直跳びに対する効果の評価	円皮鍼	小林春樹, 田中健太, 大江清一郎, ほか. 円皮鍼が垂直跳びに及ぼす影響. 前脛骨筋へのアプローチ. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2009; 32: 106-10.	3	I
M	運動負荷後の筋硬度に対する鍼の効果の解析	鍼	西脇政子, 木村隆宣, 小林克美, ほか. 腓腹部における運動負荷後の筋硬度変化. 承筋穴・禁錮穴への刺激による. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2009; 32: 31-5.	3	I
M	吸角刺激の筋力に対する効果の解析	吸角	丸茂大輔, 宇津木努, 平井顯徳, ほか. 吸角刺激による筋力への影響. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2010; 33: 138-40.	3	I
M	肩こりにおける柔軟性の変化の解析	なし	内村里恵, 岩川博文, 原田健一郎, ほか. 肩こりにおける柔軟性の変化. 肩甲骨の動きを指標にして. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2010; 33: 222-7.	3	I
M	肘関節運動に伴う筋疲労に対する円皮鍼の効果の解析	円皮鍼	濱崎元太, 種ヶ島永子, 秋山留美, ほか. 肘関節屈曲伸展運動に伴う筋疲労に及ぼす円皮鍼の効果. 30%負荷での検討. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2010; 33: 62-6.	3	I
M	鍼の臨床試験に用いられる対照群の評価	なし	森英俊, 野口栄太郎, 小林聡, ほか. 鍼の臨床試験に用いられる対照群の研究. 肩こり治療における検討. <i>日本温泉気候物理医学会雑誌</i> 1997; 61(1): 30.	3	I
M	筋疲労に対する円皮鍼の予防効果の評価	円皮鍼	金子泰久, 西塚博子, 井上正子, ほか. 全身持久カトレニングによって発生する筋疲労に対する円皮鍼の予防効果. トライアスリートに対するアンケート調査. (社) <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2000; 24:38-44.	3	I
M	筋疲労の回復に及ぼす円皮鍼の有効性評価	円皮鍼	古屋英治, 金子泰久, 上原明仁, ほか. ランダム化比較試験による筋疲労の回復に及ぼす円皮鍼の効果. shamを用いた比較試験. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2009; 59(4): 375-383.	3	I
M	ランナーの筋痛・筋疲労に対する円皮鍼の有効性評価	円皮鍼	片山憲史, 井上基浩, 石崎直人, ほか. ランナーの筋痛・筋疲労に対する円皮鍼の効果. ランダム化比較試験による試み. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2001; 51(3):357.	3	I
M	長距離走における筋痛・筋疲労に対する円皮鍼の有効性評価	円皮鍼	片山憲史, 井上基浩, 池内隆治, ほか. 長距離走における筋痛・筋疲労に対する円皮鍼の影響. <i>関西臨床スポーツ医学・科学研究会誌</i> 2001; 10: 5-7.	3	I
M	最大運動負荷試験時の各種指標に対する円皮鍼の効果の解析	円皮鍼	金子泰久, 伊藤博子, 飯田通容, ほか. 最大運動負荷試験時における各種指標の経時的変化に及ぼす円皮鍼の効果. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2002; 25: 85-93.	3	I
M	マラソン後の筋痛と筋硬度に対する円皮鍼の効果の評価	円皮鍼	宮本俊和, 濱田淳, 和田恒彦, ほか. マラソン後の筋痛と筋硬度に対する円皮鍼の効果. 二重盲検ランダム化比較試験による検討. <i>日本東洋医学雑誌</i> 2003; 54(5): 939-44.	3	I
M	持久系スポーツにおける円皮鍼の効果の評価	円皮鍼	後藤秀人, 井口佳子, 石川義仁, ほか. 持久系スポーツにおける円皮鍼の効果. 最大運動負荷試験時, 各種指標の経時的変化から. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2003; 26: 56-62.	3	I
M	遅発性筋肉痛に対する鍼刺激の効果の評価	鍼	田村国晴, 浅川真理, 石田みどり, ほか. 伸張性収縮運動後に起こる筋肉痛に対する鍼刺激の影響(第2報). <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2003; 27: 40-5.	3	I
M	膝関節運動時の筋出力低下に対する円皮鍼の効果の解析	円皮鍼	高橋伸子, 小室聡子, 青山太一, ほか. 膝関節屈曲・伸展にもなる筋出力低下に及ぼす円皮鍼の影響(第2報). 高負荷低回転による等速性運動での検討. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2004; 28: 103-7.	3	I
M	遅発性筋痛に対する鍼治療の予防効果の解析	鍼	伊藤和憲, 河本真, 藤原仁美, ほか. 遅発性筋痛に対する鍼治療の予防効果. 圧痛点治療の有用性に関する比較試験. <i>明治鍼灸医学</i> 2006; 37: 11-7.	3	I
M	肩こり被験者を対象にしたトリガーポイント鍼治療の評価	鍼	伊藤和憲, 南波利宗, 西田麗代, ほか. 大学生の肩こり被験者を対象にしたトリガーポイント鍼治療の試み. 肩こりに関するアンケート調査と鍼治療の効果に関する臨床試験. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2006; 56(2): 150-7.	3	I
M	トライアスロン競技後の筋肉痛に対する円皮鍼の有効性評価	円皮鍼	金子泰久, 古屋英治, 坂本歩, トライアスロン競技後の筋肉痛に及ぼす円皮鍼の効果. プラセボを用いた比較試験. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2006; 56(2): 158-65.	3	I
M	筋疲労に対する鍼治療とストレッチングの効果の比較評価	鍼灸	泉重樹, 宮本俊和, 日浦幹夫, ほか. ボクシング選手の筋疲労に対する鍼治療とストレッチングの効果比較. 経絡テストによる検討. <i>東洋医学とペインクリニック</i> 2007; 37(3-4): 61-9.	3	I
M	円皮鍼の等張性肘関節運動で作成した筋疲労に対する効果の評価	円皮鍼	芋川夕子, 澤井道明, 林絵里, ほか. 円皮鍼の等張性肘関節運動で作成した筋疲労に対する効果. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2009; 32: 27-30.	3	I
M	継続的鍼治療のラグビー選手のコンディショニングに対する効果の評価	鍼	大隈祥弘, 向野義人. 継続的鍼治療が大学ラグビー選手のコンディショニングに及ぼす影響. M-Test・疲労部位しらべ・POMSテスト・%ΔHR30によるコンディション判定を用いての検討. <i>日本臨床スポーツ医学会誌</i> 2010; 18(2): 264-273.	3	I
M	足三里への磁気針刺激の筋疲労回復に対する効果の評価	磁気針	北岡祐子, 向野義人, 本田達朗. 足三里への磁気針刺激が筋疲労回復に及ぼす影響(二重盲検法による検討). <i>体力科学</i> 1993; 42(6): 810.	3	J
M	頸部のこり感に対する鍼刺激の有効性評価	鍼・シヤム	鍋田智之, 吉田高征, 北小路博司, ほか. 無作為化比較試験による頸部のこり感に対する鍼刺激の効果. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 1996; 46(3): 94.	3	J
M	腰痛に対する偽鍼を用いたランダム化比較試験の試み	鍼・シヤム	井上基浩, 北小路博司, 池内隆治, ほか. 腰痛に対する偽鍼を用いたランダム化比較試験の試み. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2000; 50(2): 356.	6	J
M	腰痛に対する偽鍼を用いた鍼の有効性評価	鍼・シヤム	井上基浩, 北小路博司, 池内隆治, ほか. 腰痛に対する偽鍼を用いたランダム化比較試験(第2報). <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2001; 51(3): 412.	6	J
M	肩こり感に対する圧痛点への円皮鍼刺激効果の評価	円皮鍼	古屋英治, 名雪貴峰, 坂本歩, ほか. 肩こり感に対する圧痛点への円皮鍼刺激効果の検討. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2001; 51(3): 420.	6	J
M	急性腰痛症に対する刺鍼群と偽鍼群の治療効果の評価	鍼・シヤム	荒木誠一, 河村修, 又賀輝佳, ほか. RCTによる急性腰痛症に対する刺鍼群と偽鍼群の治療効果. 後路穴による比較. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2001; 51(3): 382.	6	J
M	内側型変形性膝関節症に対する刺鍼群と偽鍼群の治療効果の比較	鍼・シヤム	小川貴司, 中川仁, 佐久間道雄, ほか. RCTによる内側型変形性膝関節症に対する刺鍼群と偽鍼群の治療効果. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2001; 51(3): 381.	6	J
M	腰痛への遠隔部刺鍼と局所刺鍼の効果の比較	鍼	竹田英子, 鍋田智之. RCTによる腰痛への遠隔部刺鍼と局所刺鍼の効果比較. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2001; 51(3): 411.	6	J
M	急性頭痛に対する刺鍼群と偽鍼群の治療効果の比較	鍼・シヤム	田邊勝行, 小澤庸宏, 古東司朗, ほか. RCTによる急性頭痛に対する刺鍼群と偽鍼群の治療効果. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2001; 51(3): 381.	6	J

分類	Research Question	介入	論文	除外理由	検索ソース
M	腰痛に対する低周波鍼通電療法と経皮的電気刺激法の効果の比較評価	鍼通電	池内隆治, 中村辰三, 勝見泰和, ほか. 腰痛に対する低周波鍼通電療法と経皮的電気刺激法の結果. 低周波鍼通電療法と経皮的電気刺激法の多施設無作為化比較試験. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 1999; 49(1): 233.	6	J
M	慢性腰痛患者に対する箱灸を併用した鍼治療の有効性評価	箱灸	河内明, 亀井陽子, 金睦子, ほか. 慢性腰痛患者に対する箱灸を併用した鍼治療の検討. <i>東洋医学とペインクリニック</i> 2005; 35(1/2): 14-7.	1	I
M	慢性腰痛症に対する皮内鍼治療効果の評価	皮内鍼	坂口俊二, 若山育郎, 津嘉山洋. 慢性腰痛症に対する皮内鍼治療臨床試験(探索的研究). <i>関西鍼灸大学紀要</i> 2006; 3: 20-5.	1	I
M	座骨神経痛症候群に対する鍼灸の効果の評価	鍼灸	木下晴都. 座骨神経痛症候群に対する鍼灸の作用. <i>国際鍼灸学会 Proceeding</i> 1965; 57.	1	J
M	座骨神経痛症候群に対する鍼灸の効果の評価	鍼灸	木下晴都. 座骨神経痛症候群に対する鍼灸の作用. <i>国際鍼灸学会誌</i> 1966; 76-95.	1	J
M	坐骨神経痛に対する針灸の有効性評価	鍼灸	木下晴都. 坐骨神経痛と針灸. <i>医道の日本</i> 1969; 126-48.	1	J
M	坐骨神経痛に対する針灸の有効性評価	鍼灸	木下晴都. 第2回世界針学会(Paris) Proceeding 1969.	1	J
M	五十肩に対する特殊治療の効果の評価	特殊治療	木下晴都. 五十肩に対する特殊治療の効用. <i>日本鍼灸治療学会誌</i> 1973; 22(1): 23-8.	1	J
M	膝関節症に対する通電治療の効果の評価	通電治療	丸野新. 膝関節症に対する通電治療の比較. <i>日本鍼灸治療学会誌</i> 1976; 25(3): 52-4.	1	J
M	頸腕症候群に対する傍神経刺の臨床効果の評価	鍼	木下晴都. 頸腕症候群に対する傍神経刺の臨床的研究. <i>日本鍼灸治療学会誌</i> 1978; 27(1 第5回国際鍼灸学会特集号): 61-71.	1	J
M	腰部脊柱管狭窄症に対する鍼灸治療の有効性評価	鍼灸	藤坂竜治. 腰部脊柱管狭窄症の鍼灸治療に関する研究(1). <i>医道の日本</i> 1989; 48(10): 8-17.	1	J
M	変形性膝関節症に対する低出力レーザー治療と鍼治療の比較評価	レーザー治療	谷村裕充, 小野孝彦, 曾炳文, ほか. 変形性膝関節症に対する低出力レーザー治療と鍼治療の比較検討. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 1990; 40(3): 243-6.	1	J
M	膝OAに対する豊背腧穴の臨床応用の評価	鍼	武藏厚子, 木戸正雄, 光澤 弘. 豊背腧穴の臨床応用(第2報) 膝関節痛を対象として. <i>伝統鍼灸</i> 2010; 36(3): 134-9.	1	I
M	鍼治療の腰痛への臨床効果の評価	鍼	朱燕波, 折笠秀樹, 王琦. 鍼治療の腰痛への臨床効果. VAS値を評価指標としたメタアナリシス. <i>薬理と治療</i> 2002; 30(12): 997-1002.	5	I
M	鍼の筋筋膜性疼痛患者に対する効果の評価	鍼・シャム	Goddard G, Karibe H, McNeill C, et al. Acupuncture and sham acupuncture reduce muscle pain in myofascial pain patients. <i>J Orofac Pain</i> 2002; 16(1): 71-6.	5	C
M	五十肩に対する磁気治療器の有効性評価	磁気治療器	金井成行, 谷口典正, 川本正純, ほか. 五十肩に対する磁気治療器の検討. <i>整形外科と災害外科</i> 2001; 50(1): 241-4.	2	I
M	モルヒネの長期鎮痛効果の評価	モルヒネ	Keskinbora K, Aydinli I. Perineural morphine in patients with chronic ischemic lower extremity pain: efficacy and long-term results. <i>J Anesth</i> 2009; 23(1): 11-8.	2	I
M	腰痛に対する低出力レーザーの臨床効果の評価	レーザー	和辻直, 石丸圭荘, 篠原昭二, ほか. 低出力レーザーの臨床効果に関する検討. 腰痛に対する治療効果について. <i>日本東洋医学雑誌</i> 1991; 42(2): 259-64.	2	I
M	D-フェニルアラニン術前投与の慢性腰下肢痛に対する鍼治療の有効性評価	鍼	河内明, 豊田住江, 山田百合子, ほか. D-フェニルアラニン術前投与による慢性腰下肢痛に対する鍼治療の検討(第2報). <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 1984; 34(1): 28-31.	2	I
M	妊娠中の腰痛・骨盤痛に対する鍼治療の安全性と有効性に関する文献評価	なし	水本綾子, 南一成, 中込さと子. 妊娠中の腰痛・骨盤痛に対する鍼治療の安全性と有効性に関する文献検討. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2010; 33: 198-202.	4	I

14. 泌尿器、生殖器関連 (5 論文)

分類	Research Question	介入	論文	除外理由	検索ソース
N	鍼灸施術の月経困難症や月経周期に対する効果の評価	鍼灸	小林英恵, 松下美穂, 清水尚道. 鍼灸施術が月経困難症や月経周期に及ぼす影響について. スポーツ選手の基礎体温を指標として. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2008; 31: 25-8.	3	I
N	排尿障害に対する鍼の効果の評価	鍼	皆川宗徳, 石神龍代, 堀茂, ほか. 排尿障害に対する封筒法による臨床比較試験-中樞穴の有効性について-. 第10回全日本鍼灸学会中部ブロック学術大会抄録集 1997; 13.	6	I
N	排尿障害に対する鍼の効果の評価	鍼	皆川宗徳, 石神龍代, 堀茂, ほか. 排尿障害に対する封筒法による臨床比較試験-中樞穴の有効性について-. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 1998; 48(1): 64.	6	J
N	排尿障害に対する鍼治療の有効性評価	鍼	北小路博司, 角谷英治, 岡本芳幸, ほか. 無作為化比較試験による排尿障害に対する鍼治療の検討. 臨床部門プロジェクトの中間報告. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2000; 50(2): 343.	4	J
N	月経前症候群に対する鍼治療の有効性評価	鍼	Kim S C, Koo S T, Choi S M, et al. 日本と韓国における臨床研究の現状と問題点. 月経前症候群に対する鍼治療の効果. 対照をかけた臨床試験. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2006; 56(2): 135-8.	4	I

19. 麻酔、術後の疼痛 (10 論文)

分類	Research Question	介入	論文	除外理由	検索ソース
S	外傷障害に対する鍼治療の有効性評価	鍼・シャム	西澤芳男, 永野富美代, 伏木信次, ほか. 大学生球技者外傷障害の治療とリハビリテーションに対する鍼治療の double blind test の検討. <i>関西臨床スポーツ医・科学研究会誌</i> 1999; 8: 57-9.	3	I
T	D フェニルアラニンの鍼鎮痛効果に対する影響の評価	鍼鎮痛	Kitade T, Morikawa K, Minamikawa M, et al. Studies on the enhanced effect of acupuncture analgesia and acupuncture anesthesia by D-phenylalanine (2nd report)-schedule of administration and clinical effects in low back pain and tooth extraction. <i>Acupunct Electrother Res</i> 1990; 15(2): 121-35.	1	C
T	アレルギー性疾患に対する鍼灸治療の有効性評価	鍼灸	矢野忠, 江川雅人, 山本晃久, ほか. アレルギー性疾患に対する鍼灸治療の効果. <i>東洋医学</i> 2002; 18(2): 47-56.	4	I
T	指圧の術後疼痛にたいする効果の評価	指圧	Sakurai M, Suleman M-I, Morita N, et al. Minute sphere acupressure does not reduce postoperative pain or morphine consumption. <i>Anesth Analg</i> 2003; 96(2): 493-7.	2	C
T	疼痛性疾患に対する「ユニリーザー」鍼の鎮痛効果の評価	レーザー鍼	豊田住江, 河内明, 松尾征男, ほか. 疼痛性疾患に対する「ユニリーザー」鍼の鎮痛効果について. <i>東洋医学とペインクリニック</i> 1985; 15(4): 173-177.	1	I
T	D-フェニルアラニン術前投与と症例に対する鍼治療効果の評価	鍼	河内明, 北出利勝, 豊田住江, ほか. D-フェニルアラニン術前投与と症例に対する鍼治療. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 1982; 32(2): 47-51.	2	I
T	静電場の痛みに対する治療効果の評価	静電場	Kanai S, Kawamoto M, Endo H, et al. Clinical study on various pains for therapeutic effectiveness with applications of static fields. <i>関西鍼灸短期大学年報</i> 2000; 15: 48-55.	2	I
T	足関節捻挫に対する物理療法の効果の評価	なし	白岩大輔, 和田恒彦, 泉重樹, ほか. 文献調査による足関節捻挫に対する物理療法の効果. MEDLINE, 医学中央雑誌による鍼灸治療, 温熱・寒冷療法の比較. <i>東洋医学とペインクリニック</i> 2007; 37(1-2): 16-27.	4	I
T	拔牙術に対する SSP 麻酔の評価	SSP	河内明, 金睦子, 久下浩史, ほか. 拔牙術に対する SSP 麻酔の経験. <i>東洋医学とペインクリニック</i> 2003; 32(1/4): 25-31.	3	I

分類	Research Question	介入	論文	除外理由	検索ソース
T	拔牙後の疼痛に対する鍼の鎮痛効果の評価	鍼	Kitade T, Ohyabu H. Analgesic effects of acupuncture on pain after mandibular wisdom tooth extraction. <i>Acupunct Electrother Res</i> 2000; 25(2): 109-15.	1	C

21. その他 (81 論文)

分類	Research Question	介入	論文	除外理由	検索ソース
O	肝虚証と VAMFIT の関連性評価	なし	木戸正雄, 鮫島恭夫, 光澤弘. 肝虚証と VAMFIT. <i>経絡治療</i> 2001; 145: 43-37.	4	I
O	毫針方法と皮内針法の効果の比較評価	鍼・皮内針	木下晴都. 毫針方法と皮内針法. <i>日本鍼灸治療学会誌</i> 1969; 18(2): 5-11.	4	J
O	鍼の臨床効果におけるプラセボ作用とノセボ作用の評価	なし	Umlauf R. Importance of placebo and nocebo action in mechanisms of acupuncture effect. <i>日本良導絡自律神経学会雑誌</i> 1989; 34 (11/12): 310-5.	4	J
O	鍼灸臨床研究の方法論の評価	なし	森英俊, 西條一止, 津嘉山洋. 鍼灸臨床研究の方法論についての検討 クロスオーバーデザインを用いて. <i>Biomedical Thermology</i> 1998; 18(2): 98-107.	4	I
O	経穴・非経穴に対する直線偏光近赤外線照射効果の評価	近赤外線	渡部一郎, 眞野行生, 姜雲雲. 直線偏光近赤外線照射の経穴・非経穴に対する効果. <i>Biomedical Thermology</i> 2000; 20(2): 53-8.	3	I
O	伸張性収縮運動負荷によるトリガーポイントモデル作成	なし	伊藤和憲, 岡田薫, 川喜田健司. 伸張性収縮運動負荷によるトリガーポイントモデル作成の試み. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2001; 20(2): 53-8.	3	I
O	鍼刺激によるヒト振動誘発屈曲反射の抑制とそのナロキソン投与による拮抗	鍼	西村展幸, 智原栄一, 新原寿志, ほか. 鍼刺激によるヒト振動誘発屈曲反射の抑制とそのナロキソン投与による拮抗. <i>明治鍼灸医学</i> 2002; 30: 31-40.	3	I
O	腰部灸頭鍼刺激による足底部皮膚温の変化(第3報)	灸頭鍼	寺西丕, 篠崎通夫, 小川栄吉, ほか. 腰部灸頭鍼刺激による足底部皮膚温の変化(第3報). <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2003; 27: 83-7.	3	I
O	鍼刺激時の組織血液動態について	鍼	川本将夫, 武藤一平, 吉田高征. 鍼刺激時の組織血液動態について. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2003; 26: 82-6.	3	I
O	TENS 刺激の振動屈曲反射に対する抑制効果	TENS	Takakura N, Yajima H, Homma I. Inhibitory effect of pain-eliciting transcutaneous electrical stimulation on vibration-induced finger flexion reflex in the human upper limb. <i>Jpn J Physiol</i> 2004; 54(3): 243-8.	3	I
O	腰部刺激による足底部皮膚温への効果の評価	鍼	松田泉, 加藤仁, 盛田博俊, ほか. 腰部刺激による足底部皮膚温の変化(第4報) 鍼刺激直後での検討. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2004; 28: 99-102.	3	I
O	暗算負荷刺激による F 波の変化と鍼刺激の効果の解析	鍼	清水好子, 山名弘子, 黒岩正広, ほか. 暗算負荷刺激による F 波の変化と鍼刺激の影響. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2004; 28: 41-6.	3	I
O	圧迫による皮膚感覚の変化の解析	圧迫	西部康之, 古田高征. 圧迫による皮膚感覚の変化について 切皮痛に対する一考察として. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2004; 28: 63-6.	3	I
O	電子シーツの加温効果の評価	電子シーツ	田和宗徳, 矢野忠, 坪井進. 電子シーツの加温効果の検討 鍼灸治療への利用について. <i>Health Sciences</i> 2004; 21(1): 147-53.	3	I
O	指サック使用による刺激時の痛みの影響の解析	指サック	半田美香子, 恒松隆太郎, 徳竹忠司, ほか. 指サック使用が刺激時の痛みに及ぼす影響. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2004; 54(4): 627-35.	3	I
O	鍼および軽擦法が血中乳酸値におよぼす効果の解析	鍼・軽擦法	林和磨, 藤波孝徳, 森田恭弘, ほか. 鍼および軽擦法が血中乳酸値におよぼす影響について. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2004; 28: 80-2.	3	I
O	押圧刺激の腰部皮膚温に対する効果の解析	圧迫	和田恒彦, 白田幸世, 福島正也, ほか. 足底部への押圧刺激は腰部の皮膚温を上昇させるか? 足底部刺激と腰部刺激による腰部皮膚温の比較. <i>日本手技療法学会雑誌</i> 2004; 15(1): 18-22.	3	I
O	偽鍼の比較と検討	なし	澤村次郎, 稲澤敏昌, 清水頼哉, ほか. 偽鍼の比較・検討 偽鍼の開発に向けて. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2004; 28: 67-72.	3	I
O	自律神経機能および下肢血流動態への低周波刺激(SSP)の有効性評価	SSP	澤田規, 竹内義孝, 本城久司, ほか. 自律神経機能および下肢血流動態への低周波刺激(SSP)の有効性. <i>柔道整復・接骨医学</i> 2004; 13(2): 70-5.	3	I
O	鍼の効果の fMRI による解析	鍼	Ueda Y, Hayashi K, Kuriwaka K. The application of fMRI to basic experiments in acupuncture. The effects of stimulus points and content on cerebral activities and responses. <i>IEEE Eng Med Biol Mag</i> 2005; 24(2): 47-51.	3	C
O	運動による関節位置覚の変化に対する鍼施術の効果の解析	鍼	井手口翔星, 宮本直, 島津大暢, ほか. 運動による関節位置覚の変化に対する鍼施術の影響について. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2005; 29: 77-81.	3	I
O	腰部刺激による足底部皮膚温の変化の解析	鍼	山本英治, 青木純一, 澤田結, ほか. 腰部刺激による足底部皮膚温の変化(第5報). <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2005; 29: 54-6.	3	I
O	膝関節運動にともなう筋出力低下に対する円皮鍼の効果の評価	円皮鍼	青山太一, 後和直樹, 塚原由里子, ほか. 膝関節屈曲伸展運動にともなう筋出力低下に及ぼす円皮鍼の影響(第3報) 低負荷高回転による等速性運動での検討. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2005; 29: 73-6.	3	I
O	経穴への低出力レーザー照射の効果の解析	レーザー	石丸圭荘, 智原栄一, 経穴への低出力レーザー照射の影響 経穴と非経穴での反応について. <i>日本レーザー治療学会誌</i> 2005; 4(2): 9-11.	3	I
O	頸肩部の筋緊張に対する鍼刺激の効果の解析	鍼	太田喜穂子, 矢野忠. 頸肩部の筋緊張に対する鍼刺激の効果 筋硬度, 深部血液量および筋電図を指標として. <i>日本温泉気候物理医学会雑誌</i> 2005; 68(2): 122-33.	3	I
O	円皮鍼と貼付用磁気治療器の筋緊張緩和に関する検討	円皮鍼・磁気粒	中村幹佑, 奥村江里, 佐藤涼子, ほか. 円皮鍼と貼付用磁気治療器の筋緊張緩和に関する検討. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2005; 29: 69-72.	3	I
O	施灸の組織血流動態への効果の解析	灸	田和宗徳, 北小路博司, 坂井友実, ほか. 施灸の周辺部の表層と深部組織における血流動態への影響 5 施灸と 7 杜施灸の比較. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2005; 55(4): 538-48.	3	I
O	局所直線偏光近赤外線照射に生理機能に対する効果の解析	近赤外線	渡部一郎. 局所直線偏光近赤外線照射が生理機能に及ぼす影響. <i>Biomedical Thermology</i> 2005; 25(2): 34-9.	3	I
O	上腕部圧迫時の誘発筋電図変化に対する鍼刺激効果の解析	圧迫	島田智史, 今村慶太, 橋爪佐依, ほか. 上腕部圧迫による誘発筋電図の変化と鍼刺激の影響. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2005; 29: 65-8.	3	I
O	足底部指圧刺激の腰部皮膚温に対する効果の評価	圧迫	和田恒彦, 白田幸世, 福島正也, ほか. サーモグラフィでみた足底部指圧刺激による腰部皮膚温の変化 足底部刺激と腰部刺激の比較. <i>Biomedical Thermology</i> 2005; 25(2): 45-51.	3	I
O	耳介への微小金属粒子貼付の効果の解析	金属粒貼付	吉田宗平, 木村研一, 坂口俊二, ほか. 耳介への微小金属粒子貼付に伴うイオン相乗効果の検証 脈拍変動時系列データの因果解析を中心として. <i>関西鍼灸大学紀要</i> 2006; 3: 60-5.	3	I
O	サーモグラムに画像解析法を応用した皮膚温の面積評価	なし	戸村多郎, 坂口俊二, 寺田和史, ほか. サーモグラムに画像解析法を応用した皮膚温の面積評価. <i>関西鍼灸大学紀要</i> 2006; 3: 31-4.	3	I
O	背臥位における見かけの脚長差と最大開口域との関係の解析	なし	前川秀朗, 松澤孝司, 山田英史, ほか. 背臥位における見かけの脚長差と最大開口域との関係. <i>医道の日本</i> 2006; 65(7): 105-9.	3	I
O	運動負荷直後に摂取する大豆ペプチド投与の効果の解析	大豆ペプチド	増田研一, 古川勝巳, 藤原義三, ほか. 運動負荷直後に摂取する大豆ペプチド投与の効果(第2報) 成長ホルモンを指標にして. <i>関西臨床スポーツ医・科学研究会誌</i> 2006; 15: 49-50.	3	I
O	高気圧酸素浴の運動パフォーマンスに及ぼす効果の解析	酸素浴	平野潤, 伊藤謙, 林知也, ほか. 高気圧酸素浴が運動パフォーマンスに及ぼす影響(その1). <i>東洋医学</i> 2006; 12(2): 19-23.	3	I

分類	Research Question	介入	論文	除外理由	検索ソース
○	指圧刺激による皮膚温の変化の解析	指圧	和田恒彦, 臼田幸世, 寺田和史. 指圧刺激による皮膚温の変化. 自覚的温度変化と他覚的温度変化の検討. <i>東洋医学とペインクリニック</i> 2006; 36(1-2): 10-8.	3	I
○	鍼のNO産生と血流に対する効果の解析	鍼	Tsuchiya M, Sato E F, Inoue M, et al. Acupuncture enhances generation of nitric oxide and increases local circulation. <i>Anesth Analg</i> 2007; 104(2): 301-7.	3	I
○	鍼刺激の表皮局所に及ぼす効果の解析	鍼	渡邊勝之, 篠原昭二. 鍼刺激が表皮局所に及ぼす影響. 酸化還元電位および水素イオン濃度を指標として. <i>人体科学</i> 2008; 17(1): 23-33.	3	I
○	運動誘発性酸化ストレスに対する鍼通電刺激の効果の解析	鍼通電	藤本英樹, 片山憲史, 林知也, ほか. 運動誘発性酸化ストレスに対する鍼通電刺激の影響. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2008; 58(2): 203-12.	3	I
○	ストレッチと刺鍼手法がFFDに与える効果の解析	鍼・ストレッチ	石田智之, 松澤孝司, 石丸圭荘. ストレッチと刺鍼手法がFFDに与える影響. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2009; 32: 80-3.	3	I
○	透熱灸, 温筒灸の末梢皮膚血流量, 瞬時心拍数, 心拍変動高周波成分への効果の解析	灸	大久保淳子, 中村幹佑, 宮川垂矢子, ほか. 透熱灸, 温筒灸が末梢皮膚血流量, 瞬時心拍数, 心拍変動高周波成分に及ぼす影響. 刺激パターンに着目して. <i>東洋医学とペインクリニック</i> 2009; 39(1-2): 31-47.	3	I
○	平衡感覚に及ぼす鍼指圧刺激効果の評価	鍼・指圧	名倉正典, 宮前康一, 高岡寛典, ほか. 平衡感覚に及ぼす鍼指圧刺激効果の検証. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2009; 32: 127-9.	3	I
○	鍼と熱の腱の血流動態に対する効果の解析	鍼	Kubo K, Yajima H, Takayama M, et al. Effects of acupuncture and heating on blood volume and oxygen saturation of human Achilles tendon in vivo. <i>Eur J Appl Physiol</i> 2010; 109(3): 545-50.	3	C
○	鍼の運動後の唾液免疫グロブリンA上昇に対する効果の解析	鍼	Matsubara Y, Shimizu K, Tanimura Y, et al. Effect of acupuncture on salivary immunoglobulin A after a bout of intense exercise. <i>Acupunct Med</i> 2010; 28(1): 28-32.	3	C
○	鍼刺激の唾液分泌型免疫グロブリンAに効果の解析	鍼	松原裕一, 宮本俊和, 河野一郎. 鍼刺激が合宿期間中の唾液分泌型免疫グロブリンAに及ぼす影響. <i>日本温泉気候物理医学会雑誌</i> 2010; 73(3): 191-201.	3	I
○	円皮鍼による唾液アミラーゼに対する効果の解析	円皮鍼	中橋舞, 小倉智恵, 中園利夫, ほか. 円皮鍼による唾液アミラーゼに及ぼす影響. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2010; 33: 56-8.	3	I
○	電気刺激誘発の痛みと二点弁別閾に対する皮内鍼の効果の解析	皮内鍼	林和生, 樋川正仁. 電気刺激誘発の痛み及び二点弁別閾に対する皮内鍼の影響. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2010; 33: 180-3.	3	I
○	耳針法のプラセボ法の評価	耳鍼	向野義人, 荒川基矩男, 川野璋. 耳針法のプラセボ法について. <i>現代東洋医学</i> 1985; 6(4): 96-8.	3	J
○	芍薬甘草湯による鍼麻酔増強効果の有効性評価	芍薬甘草湯・鍼	北出利勝, 神野英明, 兵頭正義. 芍薬甘草湯による鍼麻酔増強効果についての実験的検討. <i>基礎と臨床</i> 1986; 20(6): 3309-14.	3	I
○	音楽リズム低周波置鍼療法の有効性評価	鍼	河内明, 豊田住江, 酒井佳. 音楽リズム低周波置鍼療法についての検討. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 1988; 38(3): 295-9.	3	I
○	耳鍼の嗅覚に対する効果の評価	耳鍼	Tanaka O, Mukaino Y. The effect of auricular acupuncture on olfactory acuity. <i>Am J Chin Med</i> 1999; 27(1): 19-24.	3	C
○	胃電図を指標とした視運動性揺動病に対する鍼刺激の効果の評価	鍼	塩見真由美, 今井賢治, 咲田雅一. 胃電図を指標とした optokinetic motion sickness に対する鍼刺激の影響について. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2003; 53(1): 71-80.	3	I
○	微小神経電図法による徒手鍼刺激の皮膚交感神経活動に対する効果の解析	鍼	木村研一, 増田研一, 若山育郎. 微小神経電図法を用いた徒手鍼刺激の皮膚交感神経活動に及ぼす影響について. <i>関西鍼灸大学紀要</i> 2004; 1(1): 20-4.	3	I
○	灸刺激の大腿部の筋疲労に及ぼす効果の解析	灸	櫻内伸浩, 上野智子, 波佐谷兼潤, ほか. 灸刺激が大腿部の筋疲労に及ぼす影響. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2000; 23: 22-4.	3	I
○	筋疲労に対する鍼刺激の効果の評価	鍼	山田訓久, 砂代祐浩, 長谷川耕一, ほか. 筋疲労に対する鍼刺激の影響について(2) 刺激部位差についての比較. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2002; 25: 35-42.	3	I
○	鍼の免疫, 内分泌への効果の評価	鍼	Akimoto T, Nakahori C, Aizawa K, et al. Acupuncture and responses of immunologic and endocrine markers during competition. <i>Med Sci Sports Exerc</i> 2003; 35(8): 1296-302.	3	C
○	鍼刺激の女性 CMI 健康調査表・基礎体温曲線に対する効果の解析	鍼	稲葉京子, 黒岩智子, 桑山みや子, ほか. 鍼刺激が女性の CMI 健康調査表・基礎体温曲線に及ぼす影響. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2003; 27: 63-7.	3	I
○	アルコール摂取時における鍼刺激の効果の解析	鍼	本地太成, 泉景司, 米沢伸子, ほか. アルコール摂取時における鍼刺激の効果. 呼吸アルコール測定器を用いて. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2003; 26: 112-6.	3	I
○	シャム鍼の妥当性評価	シャム鍼	Tsukayama H, Yamashita H, Kimura T, et al. Factors that influence the applicability of sham needle in acupuncture trials: two randomized, single-blind, crossover trials with acupuncture-experienced subjects. <i>Clin J Pain</i> 2006; 22(4): 346-9.	3	C
○	円皮鍼貼付の胃水分排出に対する効果の解析	円皮鍼	新井奈宇留, 智原栄一. ヒト足三里への円皮鍼貼付が胃水分排出へ及ぼす効果のMRIによる検討. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2007; 57(4): 509-16.	3	I
○	指圧の刺鍼時の痛みや自律神経反応に対する効果の評価	指圧	Arai YC, Ushida T, Osuga T, et al. The effect of acupressure at the extra 1 point on subjective and autonomic responses to needle insertion. <i>Anesth Analg</i> 2008; 107(2): 661-4.	3	C
○	プラセボ鍼の妥当性評価	プラセボ鍼	Takakura N, Yajima H. A placebo acupuncture needle with potential for double blinding - a validation study. <i>Acupunct Med</i> 2008; 26(4): 224-30.	3	C
○	肘関節運動に伴う筋疲労に対する円皮鍼の効果の評価	円皮鍼	芋川夕子, 北野雄大, 中村義弘, ほか. 肘関節屈伸運動に伴う筋疲労に及ぼす円皮鍼の効果. 異なる施鍼部位でのパイロットスタディ. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2008; 31: 82-6.	3	I
○	腹診による緊張度判定の意義と合谷穴への鍼灸施術の身体運動に及ぼす効果の評価	鍼灸	松本和久, 夢分流腹診による肝相火の緊張度判定の意義及び合谷穴への鍼灸施術の身体運動に及ぼす影響に関する検討. <i>明治鍼灸医学</i> 2008; 40: 15-27.	3	I
○	手の電気刺激の廃用性筋アトロピーに対する効果の解析	TENS	中山登楼, 竹内義孝, 田口大輔, ほか. Effects of palm electrical stimulation on muscle atrophy by forearm immobilization. <i>柔道整復・接骨医学</i> 2008; 16(3): 167-77.	3	I
○	強力反応点の性質と灸頭鍼の作用機序の解析	灸頭鍼	渡邊勝之. 強力反応点の性質および灸頭鍼の作用機序に関する研究. <i>日本統合医療学会誌</i> 2008; 1(2): 10-6.	3	I
○	合谷穴への1/4ゆらぎ刺激による前頭葉脳血流量と自律神経機能の変化の解析	ゆらぎ刺激	出宮範子, 合谷穴への1/4ゆらぎ刺激による前頭葉脳血流量と自律神経機能の変化について. <i>関西鍼灸大学紀要</i> 2009; 3: 186-94.	3	I
○	「内関穴」鍼刺激による唾液α-アミラーゼ活性に対する効果の評価	鍼	大島隆, 角田貴子, 高野芳彦, ほか. 「内関穴」鍼刺激による唾液α-アミラーゼ活性に対する反応. ストレスマーカーとして唾液α-アミラーゼ活性を指標に. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2009; 32: 96-100.	3	I
○	運動前の灸刺激によるヘモグロビンの変化とDOMS(遅発性筋痛)に対する灸刺激の効果の解析	灸	樋口雅一. 運動前の灸刺激によるヘモグロビンの変化. DOMS(遅発性筋痛)に対する灸刺激の効果. <i>東洋医学</i> 2009; 15(3): 54-8.	3	I
○	強力反応点への鍼刺激の有効性評価	鍼	渡邊勝之, 篠原昭二. 強力反応点への鍼刺激の有効性に関する研究. ランダム化比較試験による臨床的有効性の検討. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2010; 60(1): 74-83.	3	I
○	音楽リズム振動ベット(BODYSONICPAD(R))を併用した低周波置鍼療法の効果解析	鍼通電	河内明, 角崎憲一, 篠原理恵, ほか. 音楽リズム振動ベット(BODYSONICPAD(R))を併用した低周波置鍼療法の効果について. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 1992; 42(2): 169-73.	3	I
○	鍼治療と数マット治療器との併用による臨床効果の評価	鍼・マット	北出利勝, 林田一志, 篠原昭二, ほか. 鍼治療と数マット治療器との併用による臨床的検討(その2) 健常者でAMIを指標として. <i>日本鍼灸治療学会誌</i> 1995; 23(4): 7-9.	3	I

分類	Research Question	介入	論文	除外理由	検索ソース
○	鍼の高齢者の歩行に対する効果の評価	鍼	Seki T, Kurusu M, Arai H, et al. Acupuncture for gait disorders in the elderly. <i>J Am Geriatr Soc</i> 2004; 52(4): 643-4.	1	C
○	喫煙に及ぼす円皮鍼効果の検討	円皮鍼	石橋義之, 小野美里, 剣持拓未, ほか. 喫煙に及ぼす円皮鍼効果の検討. <i>東洋療法学校協会学会誌</i> 2008; 31: 113-7.	1	I
○	臨床試験からみた補瀉の意義の評価		木下晴都. 臨床試験からみた補瀉の検討. <i>日本鍼灸治療学会誌</i> 1971; 20(3): 6-13.	1	J
○	鍼の刺激強度とその反応の評価		松井義彦, 岡田隆, 小倉千都世, ほか. 鍼の刺激強度とその反応について 個人における過剰ドーゼとは. <i>医道の日本</i> 2004; 63(7): 86-95.	4	I
○	霊背俞穴の臨床的意義の評価	なし	武藤厚子, 木戸正雄, 光澤弘. 霊背俞穴の臨床的意義. <i>伝統鍼灸</i> 2008; 35(1): 76-81.	4	I
○	日本における美容鍼灸の現況の評価	なし	藤枝久世, 鈴木聡, 張文平. 日本における美容鍼灸の現況. <i>東方医学</i> 2009; 24(3): 1-12.	4	I
○	更年期ヘルスケアに関する介入とアウトカムの評価	なし	飯岡由紀子. 更年期ヘルスケアに関する介入研究における介入とアウトカムの検討. <i>日本更年期医学会雑誌</i> 2009; 17(2): 179-89.	4	I
○	模擬患者との腹診練習の鍼灸学生に効果の解析	なし	奥野友香, 谷口勝. 模擬患者との腹診練習が鍼灸学生に及ぼす影響(第1報) 晴眼学生におけるコミュニケーション能力. <i>鍼灸手技療法教育</i> 2010; 60: 10-5.	4	I
○	鍼治療の経済評価に関する文献調査の解析	なし	岩昌宏, 浦田繁, 小野直哉, ほか. 鍼治療の経済評価に関する文献調査. <i>全日本鍼灸学会雑誌</i> 2003; 53(1): 62-70.	4	I